

式辞

校庭の木々の芽も日ごとに膨らみ、春の息吹が確かに感じられる今日の佳き日に、多数の御来賓、保護者の皆様の御臨席を賜り、令和七年度 愛媛県立新居浜商業高等学校 第六十四回卒業証書授与式を、かくも盛大に挙行できますことは、卒業生はもとより、在校生並びに教職員一同の大きな喜びであり、厚くお礼を申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与いたしました、九十九名の卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。今日、この晴れの日を迎えることができたのは、皆さんが日々努力を重ね、幾多の挑戦を乗り越えてきた結果です。心から祝福いたします。

三年前、期待と不安を胸に本校の門をくぐった皆さんは、今、大きく成長し、新たなステージへと旅立とうとしています。この三年間、決して平坦な道のりではなかったことでしょう。学習、部活動、資格取得、学校行事。仲間と励まし合い、時に悩み、時に立ち止まりながらも、一步一步前に進んできました。その積み重ねこそが、皆さんの確かな成長の証です。

改めて申し上げます。本校の校訓は「誠実」「敬愛」「自主」「健康」です。「誠実」とは、信用の礎であり、商業を学んだ皆さんにとって、信用は何よりの財産です。約束を守ること。責任を果たすこと。小さなことにも手を抜かないこと。その積み重ねが揺るぎない「信頼」となり、皆さんを社会で必要とされる存在へと高めます。「敬愛」とは、人を大切にする心です。社会は一人では成り立ちません。多様な価値観を認め合い、相手の立場を思いやる姿勢こそが、これからの時代に求められる力です。人を敬い、人から愛される存在であってください。「自主」とは、自ら考え、判断し、行動することです。変化の激しい社会においては、正解を待つのではなく、自ら問いを立て、挑戦する姿勢が必要です。失敗を恐れず、学び続ける人であってください。そして「健康」。心身の健やかさはすべての基盤です。自分自身を大切にするを、どうか忘れないでください。

ところで、皆さんが学んだ簿記や情報処理、ビジネスの知識は、単なる技能ではありません。それは社会とつながるための力であり、未来を切り拓く武器となるものです。しかし、最終的に人の心を動かし、信頼を得るためには、知識や資格だけでは十分ではありません。人間力こそが、人生を支える土台となります。挨拶、身だしなみ、感謝の心、思いやり。当たり前のことを当たり前でできる人であってください。皆さんはこの新居浜商業高校で、「誠実」「敬愛」「自主」「健康」の校訓の下、商業の知識と人間力を兼ね備えた「商業の力」を身に付けました。その力に自信と誇りを持ってください。

これからの道のりも、順風満帆な時ばかりではありません。しかし、今年の干支である馬が、広い大地を、仲間とともに力強く駆け抜けるように、皆さんも新たな世界で、新たな仲間とともに、自らの目標に向かって歩み続けてください。困難に直面した時こそ、校歌の一節「若人ら眉上げよ」「胸を張れ」を思い出し、希望と勇気、自信を持って前に進んでください。本校で培った「商業の力」、地域と関わった経験、そして仲間と過ごした時間は、必ず皆さんの背中を押し、未来を切り拓く支えとなるはずです。どうか地域に愛され、地域に貢献できる人材へと成長されることを願っています。

終わりにになりましたが、保護者の皆様。この三年間、様々な御苦勞があったことと拝察いたします。本日、たくましく成長したお子様の姿に、感慨もひとしおのことと存じます。心よりお喜び申し上げますとともに、これまで本校に賜りました御支援と御協力に対し、深く感謝申し上げます。

それでは、卒業される皆さんの、今後ますますの御活躍と御健勝、御多幸を心から祈念申し上げ、式辞といたします。

令和八年三月一日

愛媛県立新居浜商業高等学校長 藤原 博